

英語マイスター研修講座(小学校英語)

英語授業マイスター 伊丹小学校 池田 真千子 池尻小学校 政処 布沙
桜台小学校 吉廣 郁美 鴻池小学校 常見 雅代

担当指導主事：村上 大介

キーワード：小中連携 学力向上 スモールトーク

1 実施概要

実施月日	授業者	場所・形態	演題（またはテーマ）
1月28日（火）	鴻池小学校 常見 雅代 教諭	鴻池小学校 英語ルーム ・公開授業 ・事後研修会	公開授業（第3学年） 「ALPHABET となかよし」 事後研修会 「アルファベットに子ども達を楽しみながら慣れ親しむための方法について」
2月27日（木）	池尻小学校 政処 布沙 教諭	池尻小学校 英語ルーム ・公開授業 ・事後研修会	公開授業（第5学年） 大切な人のためにスペシャルフードセットを考えよう 「What would you like?」 事後研修会 「子どもたちも先生も『楽』しく学べる外国語の授業づくり」 ～教科書や身近なものを使って～

2 主な内容

(1) 公開授業 鴻池小学校（第3学年）

授業提案のねらい

高学年になって、アルファベットが書けない児童がいることが気になっている。アルファベットに初めて出会う3年生がアルファベットに興味を持ち、単元を通して楽しみながら学べるための授業を提案した。



(2) 事後研修会

- ① 公開授業に関する意見交換を行った。
- ② 来年度、小学校外国語教科化に向けて意見交流を行った。
- ③ 講師の黒谷教頭先生から助言をいただいた。



(3) 参加者の感想

- ・名探偵というおもしろい切り口で子どもが興味を持って授業に参加しているのが、印象的だった。
- ・テキストの各自の名前のプリントの仕方が良いと思った。アルファベットの学習に活かされるので、アルファベットの仲間分けの仕方が、みんなが考えることができるので良いと思った。
- ・アルファベットの指導について再考できた。講師の先生から評価についての情報がもらえて良かった。
- ・3、4年生という学年ではアルファベットはまず聞く事に重点をおくということの大切さを改めて感じた。

(4) 講師から

- ・来年度学習指導要領が変わる。指標が学習指導要領なので読めば何をしたらよいか分かる。
- ・文字は聞く事の領域で扱われている。今日は読むことがメインになっていた。今後もこの単元だけでなく、聞く事を帯で扱うなどの検討が必要だと思う。
- ・アルファベットを子どもの日常生活に密着した看板などで見つけさせることは良かったと思う。活動は、今日のように、必然性を持たせる場面設定をして行ってほしい。

(5) 公開授業 池尻小学校（第5学年）

授業提案のねらい

授業に向けて特別なものをたくさん用意するのではなく、初めて外国語の授業を行う先生方にも身近なものを使い「楽」して行える授業を考えた。また、TIT2の役割や、来年度からの評価についても考えてもらえるよう授業を提案した。

池尻小学校



(6) 事後研修会

- ① 公開授業に関する意見交換を行った。
- ② 小・中の先生方でお互いの授業について意見交流を行った。
- ③ 担任と JTE の連携について意見交換を行った。



(7) 参加者の感想

- ・子どもたちが生き生きと英語に楽しんでいる姿は素晴らしいと思った。
- ・テーマどおり、授業者二人も、子どもたちもとても「楽」しく授業をしているのが印象的だった。
- ・授業のめあてを達成できるような授業展開の工夫が見られ、是非まねしたい内容だった。

3 成果と課題

(1) 成果

- ① 小学校教員と中学校教員で授業について考えることができた。
- ② 来年度から実施される中学年での外国語活動開始と高学年の外国語教科化を見据え、小学校3年生から中学校3年生までの7年間を見通して連携することの重要性を共有できた。
- ③ 担任と JTE の連携について意見交流ができた。

(2) 課題

- ① 小学校英語から中学校英語へのスムーズな移行ができるよう、授業公開や研修会で情報交換ができる場の設定が必要である。
- ② 担任と JTE の連携についての研修を継続させる必要がある。また、英語加配、ALT との連携についても情報交換できる場の設定が必要である。